

CSR report 2016



興銀リースグループは
CSR(企業の社会的責任: Corporate Social Responsibility)を
事業活動の基本に据え、
「お客さま」、「環境・社会」、「株主・投資家の皆さま」、「社員」の
各ステークホルダーの満足と信頼を得ること、
コンプライアンス(法令遵守)や内部統制等「規律」を
徹底することにより、
社会の持続的発展に貢献してまいります。

contents

トップメッセージ ————— 02



お客さまとともに ————— 04

興銀リースグループの主要な商品・サービス
生活とともにある興銀リースグループの事業
医療・介護分野への取り組み
環境・エネルギー分野への取り組み
社会に貢献するさまざまな事業
循環型社会への取り組み
グループ会社が提供するソリューション
海外での事業展開



社員とともに ————— 20

ワーク・ライフ・バランス
多様な人材活用
社員一人ひとりの成長のために
ダイバーシティ推進に係る取り組み



環境・社会への取り組み ————— 26

環境・社会への取り組み



株主・投資家の皆さまとともに ————— 28

株主・投資家とのコミュニケーションについて



興銀リースについて ————— 30

コーポレート・ガバナンス/内部統制
コンプライアンス/リスクマネジメント
興銀リースグループの概要

編集方針

本CSRレポートは、興銀リースグループのCSR(企業の社会的責任)への取り組みについて、皆さまに分かりやすくお伝えすることを目的に発行しております。このレポートを通じて、「お客さま」、「環境・社会」、「株主・投資家の皆さま」、「社員」及び「規律」に関する当社グループの取り組みをご紹介します。

報告対象期間

2015年4月から2016年3月まで(一部期間外の取り組みを含みます)

報告対象範囲

興銀リースグループ全体を対象としています。



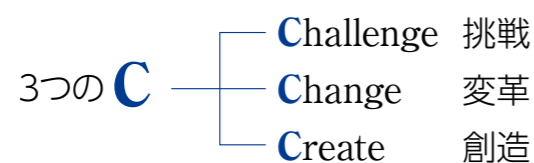
■ 企業理念

私たちは、豊かな未来へ繋がる価値ある金融サービスの提供を通じて、広く社会に貢献する企業グループを目指します。

■ 経営方針

1. お客様のニーズにお応えし、グループの総合力を結集して、的確かつ迅速なサービスの提供を目指します。
2. 株主・市場からの評価と信頼の一層の向上に努めます。
3. 積極的な人材の育成・登用と自己研鑽を通じて、活力に満ち、働き甲斐のある会社風土の醸成に努めます。
4. 法令及びその精神を遵守すると共に、企業としての社会的責任を常に認識し、広く社会の理解と共感を得られる企業グループを目指します。

■ 行動指針



興銀リースグループについて

興銀リースグループは、1969年の設立以来、リース及び割賦といった「モノ」に係るファイナンスを中心に発展し、現在では法人向け総合金融サービスグループとして国内外においてさまざまなビジネスに携わり、幅広いサービスの提供を通じて社会、経済、環境等と密接に結びついております。

当社グループは、現在、「新たな成長への挑戦」をテーマに2014年度から2016年度の3年間を計画期間とする第4次中期経営計画を推進しております。この計画では、「時代を見つめ、お客様と共に成長する特色ある総合金融サービスグループ」をビジョンとし、リースにとどまらない多様な金融サービスの提供を通じて、お客さまをサポートするとともに、時代や環境の変化に合わせて自らも進化し続けていくことを目指しております。

お客さまとともに

興銀リースグループは、事業環境や社会構造の変化により多様化するお客さまのビジネスニーズに対し、既存のビジネスモデルにとらわれることなく、新たな視点から最適なソリューションを提供することで、広く社会に貢献してまいります。たとえば、「流通・小売」分野や「医療・介護」分野など人々の生活に関連する内需型産業向けビジネスにおいては、設備等のリースに加えて、メンテナンス付リースや不動産リースなど、幅広いサービスを提供しております。「環境・エネルギー」分野におきましては、太陽光発電などのエネルギー関連設備を導入されるお客さまに対して、リースで設備の導入をサポートするとともに、補助金申請業務の支援も行っております。

また、海外においては、アジア地域を中心に、各国の金融環境や税務・会計制度に対応したファイナンスを提供し、お客さまをサポートしております。

内部管理態勢の強化と情報公開

興銀リースグループは、すべてのステークホルダーからの信頼と期待にお応えし、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を果たすため、コーポレートガバナンス・コードの精神を踏まえ、コーポレート・ガバナンスの充実に引き続き取り組んでまいります。さらに、グループ会社を含めた内部統制の有効かつ適切な運用はもとより、コンプライアンスの徹底並びに各種リスクに対する管理体制の整備を通じて、強固な内部管理態勢を堅持しております。

あわせて、ステークホルダーの権利・利益を守るため、広く情報公開に努め、公平かつ適時、適切な情報開示により、企業活動の透明性の確保を図っております。

社員及び環境・社会

興銀リースグループでは、企業が持続的な成長を果たしていくためには、さまざまな経験と能力に基づく多様な視点や価値観を有する人材を確保するとともに、社員一人ひとりが働き甲斐を持ち活力に満ちた組織運営を行うことが重要だと考えております。こうした認識のもと、2016年4月には、多様な人材が活躍するダイバーシティ文化の確立を組織的に推進するため、人事部内にダイバーシティ推進室を設置いたしました。引き続き、年齢、性別、国籍等、さまざまなバックグラウンドを持つ社員が、その能力を最大限に発揮できる職場環境づくりに取り組んでまいります。

さらに、企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility) を事業運営の基本に据え、社会貢献活動やISO14001をベースとする環境への取り組みを組織的かつ継続的に推進することにより、持続可能な社会の実現に広く貢献してまいります。

これからもお客さまをはじめとするすべてのステークホルダーからの信頼と期待にお応えし、広く社会に貢献していくことを目指してまいります。今後とも当社グループに対する一層のご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 CEO

本山博史



興銀リースグループの主要な商品・サービス

ファイナンスリース

お客さまが選定した機械設備をリース会社が購入し、お客さまに賃貸する取引です。資金面のほか、機械設備の所有・管理に伴う事務の代行効果などさまざまなメリットをお客さまにご提供しています。

債権買取、支払委託

債権買取は、お客さまが有するさまざまな債権をリース会社が買い取り、資金化する取引です。支払委託は、お客さまの支払債務をリース会社が立替払いし、その後リース会社へお支払いいただく取引です。

オペレーティングリース

機械設備の将来価値をあらかじめ差し引いてリース料を算定する取引です。ファイナンスリースの資金、事務代行等のメリットに加え、オフバランス等、会計・税務上のメリットがあります。

不動産リース、入居保証金の流動化

不動産リースは、建設工事費、各種税金等の資金を「家賃」として、費用を長期平準化する取引で、不動産のオフバランスも可能です。入居保証金の流動化は、固定化された入居保証金を流動化することでお客さまの資金効率の向上に役立つ取引です。

割賦販売

お客さまが選定した機械設備をリース会社が購入し、お客さまに分割払いで販売する取引です。

環境・エネルギー

環境・エネルギー関連の機械設備に係る、リース、割賦、貸付等の取引とあわせて、補助金などの情報提供、申請サポート等をご提供しています。

オートリース (メンテナンスリース)

自動車を対象としたリース商品です。車両管理サービス等も含めたリースにより、お客さまの管理負担の軽減、安全運行の確保に役立っています。

国際関連

海外での機械設備導入や資金ニーズに対し、国内契約の海外設置、クロスボーダーリース・割賦、現地法人間の契約、外貨建て取引等を提供しています。

貸付

さまざまな資金ニーズに関し、リース会社が資金を融資する取引です。

遊休資産の買取

お客さまの遊休・不要となった各種中古設備の査定、買取を行っています。





生活とともにある興銀リースグループの事業

興銀リースグループは、2014年4月より3カ年の第4次中期経営計画をスタートさせ、今後さらなる拡大が見込まれる内需型産業への取り組みを加速させています。当社グループは、成長戦略を推進する企業さまの多様なニーズに幅広い金融サービスでお応えしています。

株式会社プリンスホテルさま

プリンスブランドで国内最大級のホテルチェーンを展開されている株式会社プリンスホテルさま。

当社は、プリンスホテルさまが2016年7月に開業した最上級ホテル「ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町」内のフィットネス機器導入をリースでお手伝いさせていただきました。

プリンスホテルさまは、ホテル・レジャー事業のほか、国営公園の運営受託や全国5カ所での大規模太陽光発電に取り組まれるなど、地域社会の発展と環境の保全にも貢献されています。



「ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町」が入居している紀尾井タワー

Voice

コーポレート営業二部
及川 由紀子



リースの仕組みやメリットなどを丁寧に説明し、さまざまな疑問に真摯にお応えすることでリースについてご理解をいただきました。

これからも、きめ細かな対応でお客さまをサポートしたいと考えています。

株式会社ケーヨーさま

関東地区を中心として甲信地区、東海地区、近畿地区、東北地区にホームセンター「ケーヨーデイツー」を展開されている株式会社ケーヨーさま。

ケーヨーさまは、LED照明やエアーカーテンなどを取り入れた省エネ店舗づくりや、寄付・募金活動、また各自治体との物資提供に係る災害支援協定締結など、積極的に社会貢献活動に取り組まれています。

ケーヨーさまが、店舗のPOSレジスターを一斉にリース導入されるにあたり、当社がお手伝いさせていただきました。



Check Point

設備導入にあたり、リースを活用いただくことで、設備の使用実態にあった費用コントロールが可能となるとともに、設備管理事務の省力化を図ることができます。

地域に開かれた事業所内保育施設

医療法人社団 刀圭会さまは、北海道帯広市で、地域に根ざした医療・介護を提供するとともに、患者・利用者のほか、働く職員にとってのより良い環境づくりにも取り組まれ、事業所内保育施設「ひなたぼっこ保育園」を運営されています。同園は、地域に開かれた保育施設として帯広市から認可を受け、職員のお子さまに加え、地域のお子さまの受け入れも開始されました。

当社は、刀圭会さまが「ひなたぼっこ保育園」の新園舎を建設されるにあたり、ファイナンス面でサポートさせていただきました。



同園は病児保育も実施しており、「心のねっこを育てよう」をモットーにあたたかい保育を目指しています。

Voice



医療法人社団 刀圭会 法人本部
人事・研修担当 村川 理恵子 様

保育施設の新園舎建設にあたり、興銀リースのファイナンススキームを活用することで、資金調達の多様化を図ることができました。

私たちは、これからも地域の皆さまが「安心」「安全」「安らぎ」を感じながら生活できる環境づくりに取り組んでいきます。

株式会社明治スポーツプラザさま

株式会社明治スポーツプラザさまは、「夢が叶うマイクラブ」の実現を目指し、フィットネスクラブ「ザバススポーツクラブ」を運営されています。

明治スポーツプラザさまが、お客さまにより良いサービス・環境を提供するために省エネ型照明設備や新たなトレーニングマシンを導入されるにあたり、第一リース株式会社が提案したリースをご採用いただきました。

第一リースは、第一生命グループとの緊密な関係を基盤として、興銀リースグループの多様なファイナンススキームを活用し、お客さまのニーズに最適なファイナンスを提供しています。



省エネ型照明設備とトレーニングマシン

Voice

第一リース株式会社
営業第四部長 小川 正洋



明治スポーツプラザさまが、フィットネスクラブの照明設備の入れ替えを検討されるにあたり、電力コスト比較の資料を作成し、入れ替えがコスト削減につながることを丁寧に説明いたしました。

これからも、お客さまのニーズを的確に把握し、最適なソリューションをご提供いたします。



医療・介護分野への取り組み

超高齢化社会の進行や医療制度改革など、医療・介護分野への取り組みは、社会においてますますその重要性が増しており、政府の成長戦略においても重点分野として掲げられています。興銀リースグループは、医療機器のメンテナンスリースや不動産のリースなど、医療・介護関係者の皆さまのさまざまなニーズに対し、最適なソリューションをご提供しています。

地域包括ケアシステム構築を目指して

一般財団法人とちぎメディカルセンターさまは、栃木地区における地域完結型医療の実現を目指し、3つの病院が統合して設立されました。規模や成り立ちなどが異なる病院が統合し、急性期、回復・療養期、保健福祉の機能を再編して医療サービスを提供するという全国でも初の試みとして、各方面から注目されています。

当社は、MRI（磁気共鳴診断装置）及び血管撮影装置の導入にあたり、シーメンスヘルスケア株式会社さまと連携し、メンテナンスリースでお手伝いをさせていただきました。

Voic e



一般財団法人とちぎメディカルセンター
法人本部業務部長 大塚 卓 様

興銀リースとは病院新築移転計画の初期段階から密接に打ち合わせを重ね、結果、私たちのニーズを満たす最適なファイナンスでサポートいただきました。私たちはこれからも、地域の皆さまから信頼され、愛される病院・施設づくりに努めてまいります。



MRI (磁気共鳴診断装置)



血管撮影装置

働く人々の腰を守る「マッスルスーツ」

「生きている限り自立した生活を実現したい。」という企業理念のもと、株式会社イノフィスさまが開発・販売する装着型の動作補助装置「マッスルスーツ」は、介護や重筋作業現場などを中心に、働く人々の腰痛対策や疲労軽減を目的に活用されています。当社は、株式会社イノフィスさまが製品を拡販されるにあたり、当社がお客さまを紹介し、レンタル契約を締結する協定を結び、「マッスルスーツ」普及のお手伝いをしております。



「マッスルスーツ」は空気圧式の人工筋肉により稼働し、装着者が人や物を持ち上げる際の体の負担を大幅に軽減します。

Voic e

株式会社イノフィス
代表取締役社長 藤本 隆 様



少子高齢化に伴う労働者人口の減少などにより、「マッスルスーツ」の需要は近年ますます高まっており、医療・介護現場のほか、農業の畑作業や工場・物流倉庫の荷役作業などでも活用されています。興銀リースとの協定により、より多くの方に「マッスルスーツ」をご活用いただけるように期待しております。

医療機器の廃棄・売却の適正処理の推進

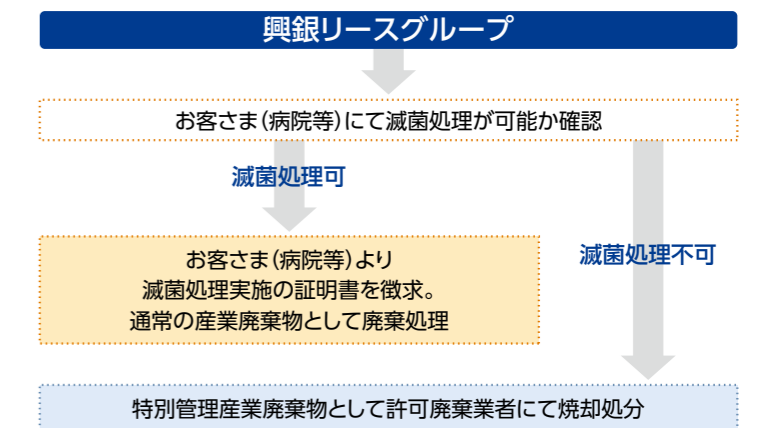
当社グループは、医療機器の廃棄・売却にあたり、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）」や「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（医薬品医療機器等法）」に基づく適正な処分を行っています。

「廃掃法」に基づく「感染性廃棄物」の廃棄処理

医療機器における『感染性廃棄物』とは、血液・血清等が付着している、またはこれらの恐れがある廃棄物のことを言い、血液分析装置、透析装置、輸液ポンプなどが対象となります。

『感染性廃棄物』は、「廃掃法」に基づく『特別管理産業廃棄物』の廃棄処理が必要となります。

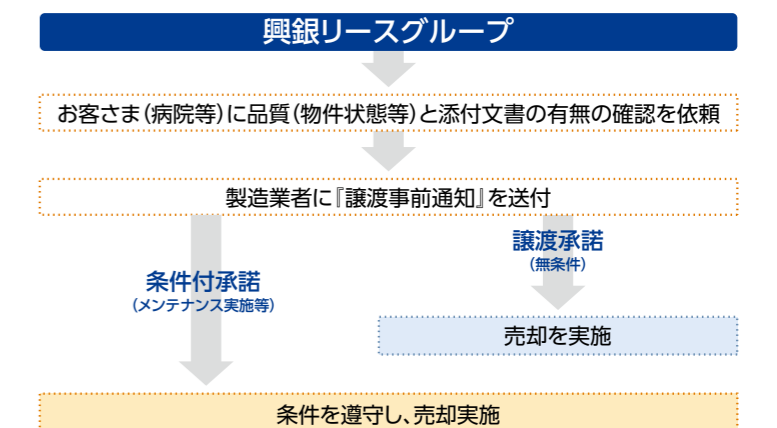
感染性廃棄物の廃棄手順



「医薬品医療機器等法」に基づく「中古医療機器」の売却処理

当社グループは、「医薬品医療機器等法」に基づき、医療機器の品質及び安全性の確保を徹底するため、リース満了または解約により、お客さまより返還されたリース物件=医療機器を売買する際、製造業者（メーカー）に対して事前通知を行い、承諾を得た後に物件を売却しています。

中古医療機器の売却手順



中古医療機器転売紹介サービス

当社は、お客さまの不要となった画像診断装置などの医療機器について、下取り仮査定や転売先を紹介するサービスを展開しています。

当社が有する中古医療機器商社とのネットワークを活用し、「機器の転売ルートがない」、「廃棄コストがかかる」、などといったお客さまの課題解決をサポートします。

当社は、医療機器導入時のファイナンスと遊休設備の転売仲介をワンストップで提供することで、医療分野における循環型社会の形成を推進しています。



環境・エネルギー分野への取り組み

興銀リースグループは、環境・エネルギーに関する社会的取り組みを推進するため、環境・エネルギー関連の設備導入に際し、リース等のファイナンスに加え、関連の補助金制度をご利用いただけるよう、ノウハウ、申請等のサポートを含めた商品・サービスをご提供しています。

補助金を活用したリースによる自然冷媒冷凍機導入

株式会社マルハニチロ物流さまが、冷凍機をフロン冷媒から自然冷媒へ入れ替え導入されるにあたり、当社は、「先進技術を利用した省エネ型自然冷媒機器普及促進事業制度*」を活用したリースをご提案し、採用いただきました。

マルハニチロ物流さまは、既存のフロン使用設備の更新や新規冷凍・冷蔵設備の導入にあたって、地球環境に優しい自然冷媒を使用した設備を採用するほか、エネルギー使用量の削減、廃棄物の削減に取り組むなど、グループ全体の環境経営の一翼を担っております。

*高い省エネ効果を有し、かつ、改正フロン類法で指定製品となり、HFC(ハイドロフルオロカーボン)を使用しない自然冷媒(炭酸ガス、アンモニア、空気等)への転換が求められる冷凍冷蔵倉庫等の施設の自然冷媒機器に対して導入を補助する制度



自然冷媒を使用した冷凍設備は、オゾン層保護だけでなく、地球温暖化にも配慮した設備です。

Voice



株式会社マルハニチロ物流 九州支社
支社管理部施設課 課長代理 小野 厚志 様

マルハニチログループでは、「環境」を経営の重要課題の一つと位置づけ、取り組みを推進しております。当社が冷凍設備入れ替えを検討するにあたり、補助金申請手続きもポイントの一つでしたが、興銀リースには、幾通りにも及び資料作成や丁寧な説明をしていただき、また補助金申請手続きにおいても迅速に対応していただいたことで、円滑な導入が実現し、大変感謝しております。

補助金を活用したリースによる太陽光発電設備導入

株式会社タカキベーカリーさまが、パン製造工場の屋根に太陽光発電システムを導入されるにあたり、当社は「エコリース促進事業補助金制度*」を利用したリースをご提案し、採用いただきました。

タカキベーカリーさまは、太陽光発電設備のほか、フロンガスの排出を抑えた自然冷媒冷凍機や節電効果が高いLED照明を導入されるなど環境対策に積極的に取り組まれております。

*家庭、業務、運輸部門を中心とした地球温暖化対策を目的として、一定の基準を満たす、再生可能エネルギー設備等の幅広い分野の低炭素機器をリースで導入した際に、リース料総額の一部を補助する制度



株式会社タカキベーカリーさまは、太陽光発電設備のほか、環境に配慮した工場・店舗づくりにも注力されております。

Voice

広島支店
課長 野間口 真一



タカキベーカリーさまが、太陽光発電設備の導入を検討されるに際し、当社の専門部署「環境営業推進室」とEPC事業者*と連携し、さまざまな提案をいたしました。今後も、当社のノウハウを活かし、お客さまに最適なファイナンスサービスをタイムリーにご提供していきます。

*設計(engineering)・調達(procurement)・建設(construction)の一連の工程をサポートする事業者

エネルギーの有効活用を通じた省エネ・創エネ・コスト削減

家庭用・業務用の油脂・油糧製品等を提供されている株式会社J-オイルミルズさまは、「おいしい♪は幸せのエネルギー。」をステートメントとし、さまざまな構造改革を推進される中、環境活動を積極的に展開されております。

J-オイルミルズさまは、油脂・油糧の製造工程において、多くのエネルギー(電気や蒸気)を使用されております。今回、千葉工場ではガスタービンコージェネレーションシステムによるオンサイト発電を採用されました。このオンサイト発電は、お客さまの工場内で電気と蒸気を創出、さらにはオンサイト発電で発生した余剰電力を売電することにより、エネルギーコストとCO₂排出量の削減を図るものです。

また、オンサイト発電は、非常用電源として単独でエネルギー供給を継続することが可能なため、BCP対策としても有効な取り組みです。

IBJ東芝リース株式会社は、オンサイト発電で導入されたコージェネレーションシステムについて、ファイナンス面でサポートさせていただきました。

Voice



株式会社J-オイルミルズ 千葉工場
製造部 工務課 杉野 幸次 様

当社では、限りあるエネルギーの有効活用、さらにはエネルギーコスト削減のため、省エネルギープロジェクトを推進しております。全国の工場でエネルギーのさらなる有効活用の取り組みを始めており、これらにより、CO₂排出量の削減やエネルギーコストの削減につながると見込んでおります。その施策の一つである今回のオンサイト発電では、IBJ東芝リースのファイナンススキームの活用により、設備の所有・維持管理をアウトソーシングすることができ、業務の効率化を図ることができました。



本オンサイト発電の導入により、CO₂排出量の削減、エネルギーコスト削減効果が期待されています。

コージェネレーションシステム

コージェネレーションシステムとは、熱源より電力や熱を生産供給するシステムであり、創出された電力や廃熱を有効利用することにより、以下の効果が期待されます。

省エネルギー・CO₂排出削減

省エネルギー効果、CO₂削減効果、経済性向上などのメリットを享受

エネルギーセキュリティの向上

停電対応仕様機の利用により、停電時の電力供給が確保され、事業継続計画(BCP)にも有用であり、一定の要件を満たすことにより非常電源としても利用が可能

再生可能エネルギーの調整電源

太陽光発電、風力発電などの再生可能エネルギーの出力変動を補完することにより、安定した電力に調整する電源としての役割が期待され、実証研究が進められている



社会に貢献するさまざまな事業

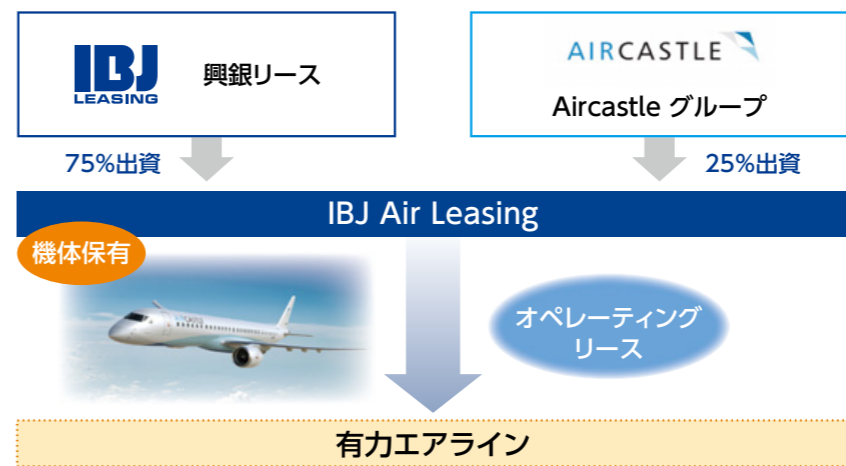
航空機関連ビジネスの新たな取り組み

興銀リースグループでは、世界的に市場の成長が見込まれる航空機関連ビジネスを注力分野と位置づけ、航空機やエンジンを担保としたローンを中心に、海外の有力なエアライン等のお客さまと取引を重ねてまいりました。

こうした取り組みに加え、2016年2月には、航空機関連ビジネスのさらなる拡大を狙い、米国の大手航空機リース会社であるAircastle Limitedと合併で航空機オペレーティング・リース専門会社「IBJ Air Leasing Limited」を設立いたしました。

当社グループは、これまで行っていた機体担保ローン等のビジネスの拡大に引き続き注力するとともに、パートナーであるAircastle Limitedのノウハウを活かした機体保有型ビジネスを新たに行うことで、お客さまのニーズに、より幅広く応えていきたいと考えております。

IBJ Air Leasing Limitedでは、2016年6月に第1号案件を実行しており、当社グループは今後も積極的にお客さまの設備投資をお手伝いすることで、世界の航空輸送に貢献してまいります。



航空機 [航空機営業部・投資商品営業部]

世界的な航空需要の広がりに伴い、航空機オペレーティングリースをはじめ、航空機に関するさまざまなファイナンスニーズが増加しています。

当社は、航空機リース、機体担保ローン、エンジン担保ファイナンス等のご提供を通じ、拡大する航空需要にお応えしています。



社会に貢献するさまざまな事業



建設機械 [建機営業部]

国が推進する「国土強靱化基本計画」や災害復興等により、建設機械の重要性が再認識されるなか、当社は、建設機械のメーカー、販売会社、レンタル会社、建設会社の皆さまとの強固な連携や知見に基づき、さまざまなファイナンスメニューをご提供することで、私たちの暮らしの基盤整備に貢献しています。



船舶 [船舶営業部]

当社は、物流ネットワークに欠かせない海上輸送サービスのため船隊整備を行う海運会社さま、船舶所有者である船主さまの多様なニーズに対し、さまざまなファイナンス手法でお応えしています。

海運市況や貨物船の価格はアップダウンの波が激しいため、当社は船舶ファイナンスにおける長い経験・知見・ネットワーク等を活かし、慎重に案件を組成しています。

お客さまとともに



バス・トラック [自動車営業部]

増加するインバウンド需要や近年のネット通販の浸透等、国内の旅客、貨物輸送はますます重要性を増しています。

当社は、旅客及び貨物輸送業界において、安全運行や環境規制対応の強化に伴う最新車両導入に対するさまざまなファイナンスニーズにお応えしています。



不動産 [不動産営業部 ケイエル・リース&エステート株式会社]

4年後に迫った東京オリンピック開催等を追い風に賑わいをみせる日本の不動産マーケット。オフィスビルや商業施設、物流施設など、不動産に係るファイナンスニーズが高まっています。

当社は、豊富な経験と高い専門性を用いて、さまざまなファイナンススキームをご提供することで、より良い社会づくりに貢献しています。



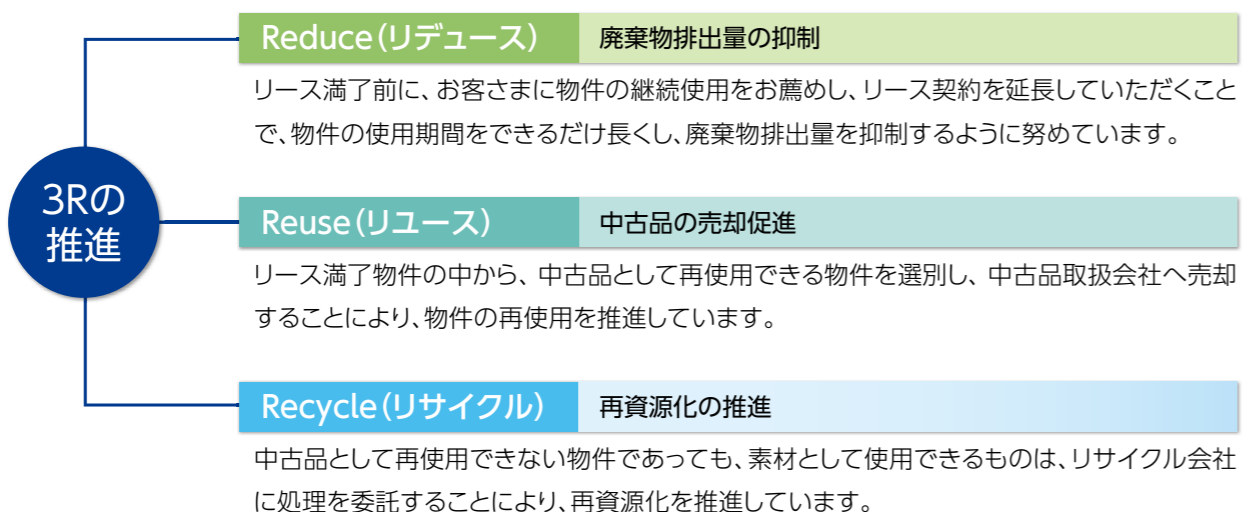
循環型社会への取り組み

リース事業は、再リースやリース終了物件の処理を通じ、3R (Reduce・Reuse・Recycle) を実践し、循環型社会の形成、産業廃棄物の適正処理に大きく貢献しています。

リース満了物件の適正処理を通じた3Rの推進

リース取引では、リース会社の「所有」する物件をお客さまが「使用」されていることから、リース満了後、物件はリース会社に返却され、リース会社が廃棄、売却等の物件処分を行っています。

興銀リース株式会社では、満了処理業務を「資産営業部」に集約し、廃棄物処理法等の環境法令に則したリース物件の適正処理に加え、3Rの推進に努めています。



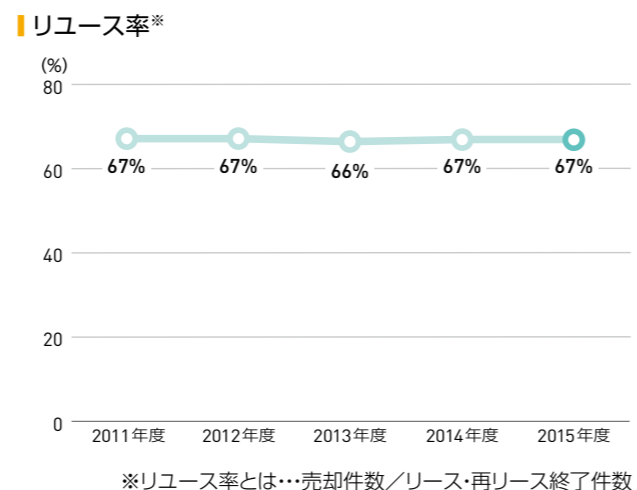
産業廃棄物処理会社の選定及び定期調査

当社は、リース満了物件の処理を委託する産業廃棄物処理会社を選定する際、必ず現場に赴き、当社独自の評価基準に基づき、「処理方法」、「保有設備」、「リサイクル実績率」などのさまざまな項目を調査、評価のうえ、適法処理はもとより、特にリサイクル意識が高い会社を選定し、満了処理を委託しています。

また委託先の産業廃棄物処理会社に対しては、毎年、現地調査とともに選定時と同等の再評価を行い、委託の継続可否を判断しています。



現地調査先の産業廃棄物処理会社



グループ会社が提供するソリューション

興銀リースグループは、お客さまのさまざまなニーズに対し、グループ各社それぞれの顧客基盤や専門機能を最大限に発揮し、グループをあげて最適なソリューションをご提供しております。

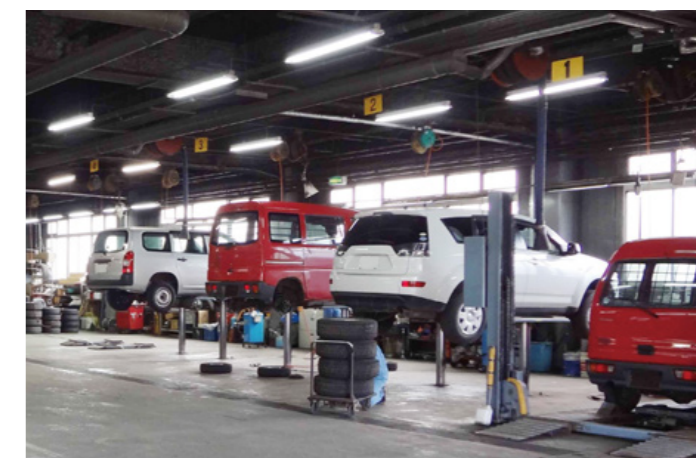
興銀オートリース株式会社

興銀オートリース株式会社は、車両に関するさまざまなニーズにお応えするリース会社で、お客さまが車両を導入する際の費用負担を平準化するほか、車両の手配から車検整備、保険・納税管理等の煩雑な業務を代行し、お客さまの「業務の合理化」をお手伝いしております。

同社は環境ISO14001の環境目標として「環境配慮型車両の取扱実績の向上・車両メンテナンスリースの取扱台数の向上」を掲げており、お客さまに対しエコカーリース促進キャンペーンや車両メンテナンスリースによる良質なメンテナンスサービスをご提供しております。

また、車両修理時の部品交換においてリビルト部品*の使用を促進しております。

*中古部品を完全に分解・洗浄し、消耗品及び不良部分を交換したリサイクル部品。中古部品の使用できる資源を最大限に有効活用しており、3Rへの貢献につながります。



提携整備工場の様子

興銀オートリース株式会社の主な環境目的と実績

環境目的	2015年度実績
環境配慮型車両の取扱実績の向上	2014年度比 97%
車両メンテナンスリース取扱台数の向上	2014年度比 106%

ケイエル商事株式会社

ケイエル商事株式会社は、当社グループ各社のリース物件の売却や処分の豊富な経験とノウハウを活かし、お客さまの遊休資産の買い取り等、機械設備に関するお客さまのさまざまなニーズにお応えしております。

機械設備の現在価値や将来の中古価値査定、遊休資産の買い取り、工場閉鎖のサポート、中古機械の売却まで幅広く取り扱っており、機械設備等資産の有効活用を通じて3R (リデュース・リユース・リサイクル) を推進しております。

ケイエル商事株式会社では、お客さまの次のようなニーズにお応えしています。

- ① 遊休設備を売却したい
- ② 設備入れ替え時の旧物件を売却したい
- ③ 工場閉鎖、統合による費用を圧縮したい
- ④ 不要物件の売却可能性や売却見込額を知りたい
- ⑤ 設備を中古物件で導入したい

主な取扱物件

- 工作機械
- 印刷紙工機械
- 射出成形機
- 産業機械
- 食品機械
- 検査機器
- 建設機械
- 木工機械
- 発電機
- 車両(フォークリフト、特殊作業車等)
- その他生産設備



遊休資産買い取りの様子



海外での事業展開

近年、アジア地域は、日本企業にとって、生活拠点としてだけでなく、新たな消費地としてもますますその重要性を増しています。興銀リースグループは、お客さまの海外進出をサポートするため、アジア地域における営業体制を強化しており、海外現地法人間の取引、国境を越えたクロスボーダー取引や外貨建て取引など、お客さまのさまざまなニーズに対し、最適なファイナンスサービスをご提供しています。

Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd.

タイ (バンコク)

Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd. (KTIBJ) は、1992年2月に現地の政府系大手銀行であるクルンタイ銀行等との合併で設立されました。タイは自動車産業を中心に東南アジア経済のハブとしてますます存在感が高まっています。KTIBJはこれまで多くの日系企業並びに現地企業との取引実績があり、豊富な経験、ノウハウを有しています。お客さまへの直接のファイナンスだけでなく、強みであるベンダーファイナンス分野でもサポートします。



興銀融資租賃 (中国) 有限公司

中国 (上海、広州)

興銀融資租賃 (中国) 有限公司 (IBJL-CN) は、2008年7月に興銀リースの100%出資子会社として設立されました。設立以降、業容を拡大しており、現在では現地スタッフを管理職に登用するなど、“現地化”を図るとともに、医療ビジネスやファクタリングなどの新たなファイナンスサービスを手掛け、ビジネスの多様化を図っています。IBJL-CNは、今後一丸となってお客さまの中国におけるファイナンスニーズにお応えしてまいります。



PT. IBJ VERENA FINANCE

インドネシア (ジャカルタ)

PT. IBJ VERENA FINANCE (IBJV) は、現地資本のファイナンス会社であるPT.VERENA MULTI FINANCE TBKとの合併会社で、日系企業を中心にさまざまな設備投資ニーズに対応しています。インドネシアは、現在、約1,700社の日系企業が進出し、その業績も多岐にわたります。IBJVは、経験豊富なナショナルスタッフとのチームワークでお客さまのニーズにお応えし、インドネシアのさらなる発展に貢献していきます。



アジアデスク

PNB-IBJL Leasing and Finance Corporation

フィリピン (マニラ)

PNB-IBJL Leasing and Finance Corporation (PNB-IBJL) は、現地有力銀行であるPhilippine National Bank (PNB) との合併リース会社であり、パートナー企業のPNBIは、2016年に創業100周年を迎えたフィリピンを代表する銀行です。PNB-IBJLは、フィリピンに進出する日系企業向けのファイナンスに加え成長を続けるフィリピン経済を背景に、PNBと連携し日系企業の同国における販売活動をサポートするためのベンダーファイナンスにも注力しています。



Topics

タイ現地法人によるオートリース事業取得

当社は、1992年にタイの政府系大手銀行であるクルンタイ銀行等との合併企業として、Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd.を設立し、20年以上にわたり、リースを中心とする金融サービスを提供してまいりました。2016年5月、タイにおいてさらなる事業基盤の拡充を図るべく、現地リース会社KTIB Leasing Co.,Ltd.からオートリース

事業を取得しました。今後、新たにメンテナンス付オートリースサービスの提供を開始することで、タイにおける事業基盤の拡充を加速してまいります。当社グループは、これまで培ってきたリースノウハウと多様なサービスを武器に、引き続き現地におけるお取引先の事業展開をファイナンス面からサポートしてまいります。



左: Mr. Chairat Kamonoratep (KTIB Leasing Co.,Ltd.社長)
右: Mr. Charoenchai Panichboon (Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd.社長)



タイ現地法人が入居するNantawanビル



ワーク・ライフ・バランス

社員一人ひとりが最大限に能力を発揮し、安心して仕事に取り組むための、働きやすい職場環境の整備と多様な働き方の実現に向け、「ワーク・ライフ・バランス」を推進しています。

■ 出産・育児及び介護支援制度

興銀リースグループでは、仕事と育児の両立を支援するため、出産・育児等に関する各種制度を整備しています。

育児休業制度では、最長1年半の取得が可能で、復職した社員は、子女の小学校就学前まで就業時間の短縮勤務が可能です。

また、親族に介護が必要となった場合には、介護休業制度において、対象親族1人につき3カ月の介護休業の取得が可能です。

第一リース株式会社 田島 優子

以前から「仕事は長く続けたい」と思っていたことから、本制度の利用を決めました。社内に復職し活躍している先輩がいたこともきっかけの一つです。何かと不安もありましたが、上司や同僚が背中を押してくれたおかげで、わが子の成長をすぐそばで見守り続けることができました。復職した現在も変わらない周囲のサポートには本当に感謝しています。今後、同僚が本制度を利用するときにははっきり支えられる存在になりたいと思います。



▶ 「次世代を担う子供の育成支援に積極的な企業」として認定を受けています。

当社は、2013年2月に東京労働局長より、次世代育成支援対策推進法に基づく「次世代の社会を担う子供の育成支援に積極的に取り組む企業」として2007年に続き2度目の認定を受け、「次世代認定マーク」を取得しました。



■ 出産・育児休業取得者

2013年度	2014年度	2015年度
10名	11名	11名

■ 特別休暇

当社グループでは、仕事と生活の調和「ワーク・ライフ・バランス」を保つことを目的として、社員のライフステージに応じた「特別休暇」制度を制定しております。

■ 配偶者の出産休暇

「特別休暇」として、冠婚葬祭、配偶者の出産休暇、介護休暇はもちろん、子女の看護休暇やリフレッシュ休暇など、私生活の充実とともに業務に集中できる環境整備に取り組んでおります。



環境営業推進室 大八木 崇允

妻の妊娠が分かったときから「出産には立ち会いたい」と夫婦でよく話をしていましたので、出産予定日が近づく中で、部署のメンバーにもその意向を伝えました。上司や先輩は私の思いを後押ししてくださり、緊急時の業務体制などを予め整えてくださいました。平日、早朝に出産の兆しがあったのですが、おかげで当日は妻に付き添うことができました。生まれたばかりのわが子を前に、家庭も仕事も一層充実させようと決意を新たにしました。

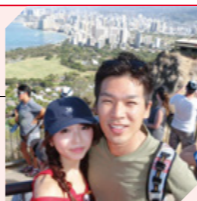
■ リフレッシュ休暇

社員の心身のリフレッシュと自己啓発を目的として、勤続年数5年毎に5日間（土・日を含め9日間）の特別連続休暇が与えられるリフレッシュ休暇制度を導入しています。

定期的に自らを振り返り、心身ともにリフレッシュできる大切な時間とゆとりを持つことが社員の活力向上につながってくると当社は考えています。

福岡支店 齋藤 辰也

リフレッシュ休暇制度を利用して妻とハワイ旅行に行きました。現地では観光やショッピングなどを楽しみながらも、7泊9日と余裕のある日程だったことから、予定を立てずのんびりと過ごす時間も確保できました。日常から離れ、あらためて自分を見つめ直す良い機会になりました。休暇中は上司やアシスタントが私の担当する取引先をフォローしてくださいのおかげで、スムーズに仕事に戻ることができ大変感謝しています。



多様な人材活用

当社グループは、多様な人材の活用に努めており、社員一人ひとりが新たな刺激を受けることで、組織の活性化につながっています。

■ 新規学卒者採用・中途採用・障がい者採用

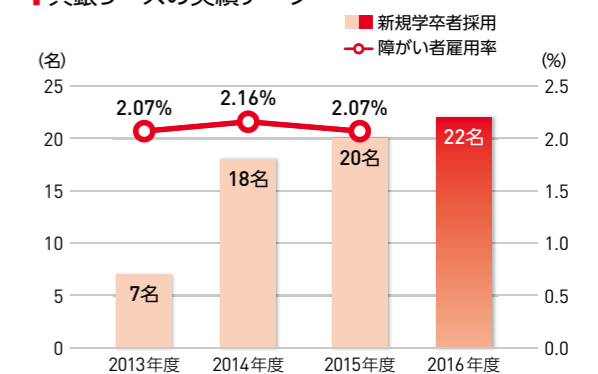
当社グループは、公平・公正な採用選考を基本方針とし、新規学卒者採用とともに、さまざまな経歴を有する人材の中途採用や障がい者の雇用促進など多様な人材の採用に努めています。

さまざまな個性を持った人材が能力を最大限に発揮し、「共に考え」、「共に行動」し、「共に成長」していくことが、当社グループの未来を支えていると考えています。



2016年度新入社員

■ 興銀リースの実績データ



■ インターンシップ制度

当社は、学生にリース業界を理解してもらうため、「インターンシップ」を実施しております。

インターンシップでは、リース会社の事業内容や社会貢献性、当社の特色などの説明のほか、学生同士による営業ロールプレイングやグループワークを通じた提案営業などを体験してもらいます。

また、学生と当社の若手社員との座談会では、実体験に基づく“生の声”を届けることにより、当社についての理解を深めてもらっております。



■ 海外からの研修生の受け入れ

当社では、1988年から毎年1名の海外学生を研修生として受け入れています。これは、海外学生が当社国際部を中心にさまざまな部署において、営業案件の補助や契約書類・各種資料の作成などを行い、当社における一連の業務を1年間にわたり経験する制度です。

受け入れる研修生の国籍はさまざまですが、研修生と社員は業務を通じてだけでなく、業務を離れた場においても積極的にコミュニケーションを図り合い、お互いの文化・風習を理解し合うことのできる良い機会となっています。



国際部 アン・リステルド (Ann Listerud)

学生時代に日本の言葉と文化に魅了され、日本について学ぶようになりました。現在在籍している大学院では、世界において日本が担う役割について研究しています。

今回のインターンシップでは、日本式のビジネスや経営戦略について見識を高めたいと思っています。1年という短い期間ですが、興銀リースが展開している金融ビジネスの仕組みや海外投資のノウハウを学ぶとともに、日本語の一層の上達を目指してまいります。



社員一人ひとりの成長のために

興銀リースグループは、当社グループの持続的な成長・発展において最も重要な経営資源である人材について、経営方針に「積極的な人材の育成・登用と自己研鑽を通じた、活力に満ち、働き甲斐のある会社風土の醸成」を掲げ、人材育成プログラムの拡充や人事制度の整備に取り組んでいます。

人材育成プログラム

当社グループは、社員の成長レベルに応じた階層別研修及び自由選択型研修を含む実務スキル研修とともに、自己研鑽及び資格取得の奨励をサポートする通信教育制度等、きめ細かな研修制度を設けています。

研修体系図

	階層別研修		実務スキル研修	通信教育制度	その他
	総合職	一般職			
管理職層	外部経営セミナー		評価者研修 営業スキル向上研修 自由選択型研修 外部講習(専門知識習得)	自己啓発受講	キャリアデザイン研修 eラーニング 語学研修
	マネジメント研修				
	選抜型マネジメント研修				
	マネージャー研修				
非管理職層	ヒューマンアセスメント研修	事務職リーダー研修	外部派遣 指導担当者研修 自由選択型研修 外部講習(専門知識習得)	自己啓発受講	キャリアデザイン研修 eラーニング 語学研修
	中堅担当研修	事務職研修			
	事務研修				
	フォローアップ研修	フォローアップ研修			
	新人研修(導入・OJT実務)	新人研修(導入・OJT実務)			



フォローアップ研修の様子

OJT (On the Job Training) 制度 - 職場内研修 -

当社グループでは、配属後約半年間のOJT制度を導入しております。OJT制度では、新入社員が指導担当者(配属先の先輩社員)とともに実際の業務に触れながら、仕事への理解を深め、業務を体得してもらうことを目的としております。

また、指導担当者においても、新入社員への教育・指導を通じて、新たな「発見」や「気付き」が得られ、さらなる知識の定着・成長につながることを期待しております。

OJT制度は、指導担当者だけでなく、配属先の役職員全員で新入社員を育成する意識を持って推進しております。



東京営業第二部
吉澤 涼 (新入社員)

配属間もない頃、年の近い先輩が取引先の経営陣と対等に折衝する姿に衝撃を受けました。それと同時に、自分の成長のため、この半年がどんなに重要か強く認識することができました。OJT期間中は失敗することもありましたが、遠田さんがさまざまな面でサポートしてくださったおかげで、多くのことを学ぶことができました。現在は営業担当として立ち立ちましたが、OJTで学んだことを実践し、お客さまの信頼を勝ち取っていきたくと思います。

東京営業第二部
遠田 薫 (指導担当者)



入社二年目に吉澤さんの指導を担当しましたが、自分にとっても貴重な半年間でした。OJT期間中、吉澤さんから質問を受ける中で、自分自身が曖昧なままにしていたことがいくつもあることを痛感しました。また、同行営業などでは、常に後輩のお手本となるよう、入念な事前準備を心がけるようにもなりました。後輩を指導することによって仕事に対する意識が変わり、吉澤さんとともに大きく成長できた半年だったと思います。

キャリアアップ制度

チーフアシスタント制度

一般職社員の指導的な役割を担う「チーフアシスタント」職階を設けています。

営業トライアル制度

一般職から総合職(営業)への職系転換制度です。営業職務を経験することにより、潜在的な能力を最大限に発揮し、新しいキャリアアップの道を自立的に形成していくことを支援しています。

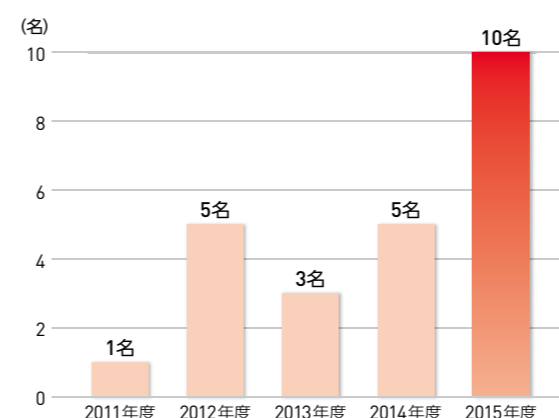
直接雇用への転換

当社は、所属部門での就業状況や本人の希望などを踏まえ、当社グループでのさらなる活躍を期待し、派遣スタッフの直接雇用を推進しています。

公募制度

特定の業務やプロジェクトに従事する人材の募集に対し、社員が自主的に応募できる制度です。意欲ある社員の挑戦を促し、活躍の場を提供しています。

正社員・契約社員登用実績



ビジネスサポートセンター 加藤 朋 (公募制度)



昨年度ビジネスサポートセンターチームリーダー候補の公募に応募し、半年間の業務経験を経てチームリーダーに就任しました。

以前は名古屋支店で営業アシスタントをしていましたが、さらなるスキルアップと他部店での業務経験を求め、自分自身への挑戦と思い応募しました。現在はリーダーとしての責任の大きさを日々感じながらも、チームのアイデアなどを具現化しながら、主体的に事務の効率化を推進できる点にとってもやりがいを感じています。

ジョブ・ローテーション

当社グループでは、専門性と多様性をあわせ持つ人材育成のため、さまざまな職務を経験できるようジョブ・ローテーションを行っています。

これは、社員が異なる職務を経験することにより、自らが認識していなかった適性や能力に気づいてもらうことと、職務経験を通じて身につけた知識やスキルを新たな業務にも活かしてもらうことを目的としています。

また、社員の異動・配置にあたっては、各部署の要員希望だけでなく社員の自己申告*による希望も考慮するよう努めています。



情報機器営業部
櫻井 あずさ

大企業との取引が中心の前部署から、さまざまな業種業容のお客さまと取引を行う現在の部署に異動しました。営業アシスタントという業務は変わりませんが、現部署のお客さまは契約条件も多岐にわたり、使用する契約書類が異なることもあります。これまでの経験に加え応用力の必要性を感じています。

今後もいろいろな業務を経験することで着実にキャリアアップし、後輩たちの手本となるような先輩になりたいと思います。

*自己申告制度 毎年12月に社員が、異動希望、本人の健康状態、家族に関することなどを申告する制度。本制度は、今後のキャリア形成を踏まえた適材適所の人材配置を実現させるために活用しています。



ダイバーシティ推進に係る取り組み

興銀リースグループは、女性社員の能力向上・キャリア開発への支援を行い、活躍を後押しするとともに、男性社員も含めた全社員がより活躍する働きやすい制度・職場環境づくりに取り組んでおります。

女性活躍推進プロジェクトチーム「SAKURA」

これまでの活動～ PHASE1、PHASE2 ～

当社は、2014年10月に女性社員のさらなる能力向上・活躍推進のため、部署、担当業務、年齢の異なる多様なメンバーで構成された女性活躍推進プロジェクトチーム「SAKURA」を発足させました。「SAKURA」では、2期にわたり女性活躍のあるべき姿や働き甲斐のある職場環境等について積極的な意見交換を実施してきました。また、深められた議論をもとに女性活躍の推進策をまとめ、経営陣への提言を行うとともに社員向けの報告会を実施しました。



打ち合わせの様子



PHASE1、2とも議論を重ね、それぞれが経営層への提言、社員への報告会を実施しました。

2014年 SAKURA PHASE1

2015年 SAKURA PHASE2

— 経営陣への主な提言内容 —

- 女性社員の働き方改革
 - ・ 女性一般職の業務領域の拡大
 - ・ 職系転換制度の整備

- 女性総合職のキャリア支援
 - ・ キャリアデザインの支援プログラム策定
 - ・ ジョブローテーションの活性化

女性にとどまらず、全社員の多様な働き方を実現するための施策

- ・ 育児や介護等との両立支援制度の拡充
- ・ その他、ワーク・ライフ・バランスの推進

これからの活動 ～ PHASE3 ～

2016年10月より、PHASE1、PHASE2の活動を引き継ぎ、PHASE3がスタートしました。PHASE3では、「マネジメント層ならではの目線からの働き方改革」をテーマとし、マネジメント層の社員のみをメンバーに構成しました。部下のいるマネージャーとしての立場から、社員それぞれの「多様な価値観」と「さまざまな制約」を考慮し、業務効率化やチームワーク向上策、さらなる女性活躍推進策の検討を行っています。



PHASE3メンバー

ダイバーシティ推進室の発足

2016年4月、これまで女性活躍推進プロジェクトチーム「SAKURA」で培ったノウハウや成果をもとに、女性活躍にとどまらず、性別や国籍、年齢などにとらわれない多様な人材の活躍を組織的に推進するため、人事部内に「ダイバーシティ推進室」を設置しました。

ダイバーシティ推進室では、「人が財産」という考えのもと、さまざまな視点や価値観を尊重し、社員一人ひとりが能力を最大限に発揮し協働していける体制づくりや社内の意識改革に取り組んでおります。

ダイバーシティ推進室の取り組み

- 社内での意識啓発を推進し、ダイバーシティ文化を確立
- 将来の女性管理職比率上昇に向けた施策の実施
- 出産・育児・介護等との両立支援制度の拡充を図り、多様な働き方を実現
- すべての社員が最大限に能力を発揮し、より活躍できる環境の整備

室長インタビュー

人事部ダイバーシティ推進室 室長 夏井恵理



ダイバーシティ推進室は、これまでSAKURAが取り組んでいる女性活躍推進を、組織として発展させ、当社グループの「ダイバーシティ文化」を確立するために設置されました。与えられたミッションは、柔軟な働き方を可能とするための制度改革や、多様な社員が能力を最大限に発揮し活躍できる環境づくり等、多岐にわたります。引き続きSAKURA

PHASE1、2の提言項目の実現に取り組むとともに、新たに活動を開始したSAKURA PHASE3と一体となり、ダイバーシティ文化の確立に向けた取り組みを継続してまいります。

経営インタビュー

代表取締役専務 倉中 伸



女性社員のさらなる活躍を推進し新たな企業風土を確立するためには、社員たちが主体的に施策を考え、自ら新たな企業風土を創っていくことが重要だと考えました。PHASE1は女性一般職のみでスタートし、身近な職場の問題から議論を開始して、徐々に議論を深めていってもらいました。PHASE2では、女性総合職や男性総合職も含めた多様なメンバーで構成し、さまざまな視点から施策を検討してもらいました。どちらのPHASEでも、経営層への提言と社員への報告会を実施した結果、大きな反響がありました。さ

らに、2016年10月からスタートしたPHASE3は、部下のいる管理職のみで構成いたしました。マネジメント層ならではの視点での取り組みに、大いに期待しております。

女性活躍推進の取り組みはまだ始まったばかりであり、「新たな企業風土の確立」は5年、10年とじっくり腰を据えて進めるべきと考えています。SAKURAの活動に加え、あらたに発足させたダイバーシティ推進室の組織的推進のもと、引き続き社員が生き生きと働ける職場環境づくりに努め、社員がさまざまなことに挑戦したいと思える会社にしていきたいと考えています。



環境・社会への取り組み

当社及びグループ会社8社を対象として環境に関する国際規格ISO14001の認証を取得しています。国際規格ISO14001に基づく「環境マネジメントシステム」の内容は以下のとおりです。

環境方針：興銀リースグループの環境に対する基本方針

- ① 環境関連法令を遵守するとともに、企業としての社会的責任を常に認識し、環境保全活動について継続的改善を図ります。
- ② 環境保全に資する商品・サービスの開発及び提供を通じて、環境保全と経済発展の両立を図ります。
- ③ リース終了物件の適正管理はもとより、リサイクル及びリユースを推進し、循環型社会の構築に貢献します。
- ④ あらゆる事業活動において、環境の影響把握に努め、環境負荷の低減及び環境汚染の予防に努めます。

主な環境目的と環境目標

環境目的 - 中期目標 -		環境目標 - 単年度目標 -		
		2015年度設定内容	実績	2016年度設定内容
営業系	環境に配慮した物件への取り組みを増加	過去最高実績である2014年度水準(特殊要因による実績を除く)を維持	達成率90%	2015年度実績比(特殊要因による実績を除く)8%増加
	環境保全に資する新たな商品・サービスの具現化	全社的な環境営業の推進	提案資料作成勉強会実施等	全社的な環境営業の推進
満了、中古系	中古資産買取による3Rの推進	2014年度水準を維持	達成率96%	2015年度実績比8%増加
	循環型社会への持続的貢献	リユース率* 60%以上	リユース率* 67%	リユース率* 60%以上
	遵法処理の徹底及びリサイクル業者の選定	産業廃棄物処理委託会社の定期調査全社実施	全社実施	産業廃棄物処理委託会社の定期調査全社実施
オフィス系	紙使用量の削減	2010~2012年度年間平均水準(1人あたり使用枚数)を維持	目標値比1%増加	2013~2015年度年間平均水準(1人あたり使用枚数)を維持
	電気使用量の削減	2010~2012年度年間平均水準を維持	目標値比7%削減	2013~2015年度年間平均水準を維持

*リユース率は…売却件数/リース・再リース終了件数

環境マネジメントシステムの組織体制

当社グループは、「CSR統括責任者」のもと、「環境管理責任者」が環境活動全体の管理を担い、また当社「環境運用責任部」及びグループ各社の「環境運用責任者」が環境目標達成に向けた取り組みを推進することで、環境マネジメントシステム(PDCAサイクル)の確実な運用を確保しています。

興銀リースグループは、社会的課題である環境・エネルギーについて、リース等の事業を通じた取り組みとあわせて、私たちの事業活動自体に起因する環境負荷の低減に努めています。また、当社グループでは、社員一人ひとりが自発的に参加できる社会貢献活動を推進しています。

社会貢献活動への取り組み

■ 平成28年(2016年)熊本地震の被災地支援

このたびの平成28年(2016年)熊本地震により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。当社グループでは、この地震で被災された方々の救援及び被災地の復興に役立てていただくため、以下の支援を行いました。

企業による支援

当社グループでは、日本赤十字社を通じ、企業義援金として1,000万円の寄付を行いました。加えて、当社福岡支店が中心となり福岡市を通じて500mlの水168本を寄付しております。

社員からの義援金による支援

当社グループ社員から有志による義援金を募り、日本赤十字社を通じて19万円の寄付を行いました。



■ ゴールドリボン運動の支援

ゴールドリボン運動とは、小児がんの子供たちを支えるために「認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク」が主催し展開されている運動です。小児がんは、日本では子供の病死原因の第1位となっていますが、大人のがんに比べ圧倒的に患者数が少ないため、その治療法や薬などの研究開発はなかなか進んでいないのが現状です。当社グループは売上金の一部をゴールドリボン運動支援に寄付することができる自動販売機を本社内に設置することにより、この運動を支援しています。



■ エコキャップ運動への参加

エコキャップ運動とは、一般のゴミとして焼却処分されると二酸化炭素(CO₂)の発生源になるペットボトルのキャップを、再資源化のため分別回収のうえリサイクル事業者に売却することによって得た収益をもって、発展途上国の子供たちに感染症のワクチンを届ける運動です。エコキャップ800個で1人分のワクチンが購入でき、約6kgのCO₂発生を抑制できます。

当社グループは、本社ビルの各所及び支店にエコキャップ回収ボックスを設置し、エコキャップの回収に積極的に取り組んでいます。

年度	回収重量	個数(概算)	ワクチン数換算 ^{※1}	CO ₂ 換算 ^{※2}
2015年度	224.41kg	96,492個	112.00人分	706.22kg

※1 ポリオ(小児麻痺)ワクチンは、エコキャップ約800個(=20円相当)で1人分と換算

※2 CO₂は、回収重量1kgにつき3,150gにて換算

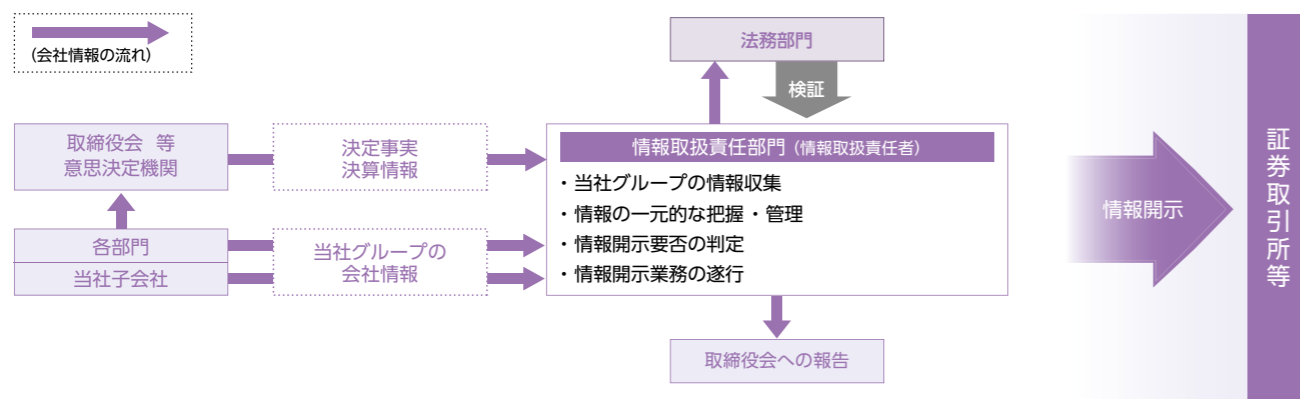


株主・投資家とのコミュニケーションについて

興銀リースグループは、企業活動の透明性を確保するため、広く情報公開に努め、公平かつ適時適切な情報開示及び株主・投資家の皆さまとの積極的なコミュニケーションを通じ、社会からの信頼を得よう努めてまいります。

情報開示ポリシー

興銀リースは、株主をはじめとするステークホルダーの権利・利益を守るため、当社グループ連結ベースをもとに、広く情報公開に努め、適時適切で公平な情報開示により企業活動の透明性を確保するとともに、積極的かつ正確・迅速な情報開示を行う体制を整備し適正に運用いたします。



積極的なIR活動

当社は、公平かつ適時適切な情報開示を継続的に行うとともに、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションを充実させ、当社への理解を深め企業価値を適正に評価していただけるよう努めることをIR活動の基本としています。機関投資家・アナリスト向けの決算説明会や国内外の投資家の皆さまとの定期的な個別ミーティングのほか、個人投資家の皆さま向けの会社説明会も毎年実施しています。



個人投資家向け会社説明会

2015年度IR活動実績

決算説明会	2回
個人投資家説明会	2回
機関投資家等との個別ミーティング	64回

IRサイトの充実

当社は、ホームページのIRサイトに決算情報や格付情報のほかアニュアルレポートや株主総会関連資料を掲載し、株主・投資家の皆さまに幅広い情報をお伝えするよう努めています。また、決算・財務に関する資料を英文のホームページにも掲載し、海外への情報発信にも努めています。

IRサイト <http://www.ibjl.co.jp/ir/>

IRサイト掲載の各種資料

- 決算短信(連結)
- 有価証券報告書、四半期報告書
- アニュアルレポート(和文・英文)
- 決算説明会資料(和文・英文)
- 株主総会招集通知
- 臨時報告書(議決権行使結果) 他

株主の皆さまとのコミュニケーション

株主総会

当社は、株主の皆さまが議案を十分にご審議いただけるよう早期に招集通知を発送するとともに、発送に先駆け、ウェブサイト等に電子データを掲載しております。

また、より多くの株主の皆さまにご出席いただけるよう集中日を避けて開催するなど、株主総会の活性化に取り組んでいます。

株主還元

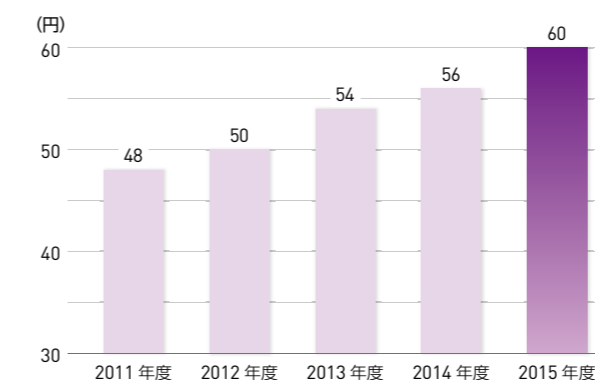
配当政策

当社は、株主の皆さまへの利益還元と株主資本充実のバランスに十分留意し、業績に応じた配当を実施することを基本方針としています。

株主優待制度

当社は、株主の皆さまからのご愛顧に感謝し、毎年3月31日を基準日とする株主優待制度を実施しています。

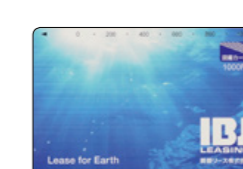
1株あたり年間配当金



株主優待制度

	連続2期以上保有の場合*
1単元(100株)以上保有の株主さまに一律3,000円相当の図書カードを贈呈	1単元(100株)以上保有の株主さまに一律4,000円相当の図書カードを贈呈

*連続保有期間2期以上の確認は、基準日(毎年3月31日)の株主名簿に、前期末と同一株主番号で連続して記載された株主さまといたします。



オリジナル図書カード



株主優待特典

株主アンケート

当社は、年2回(6・12月)、株主の皆さまへの『年次・中間報告書』にアンケートを添えて送付しています。このアンケートに対し、2016年は6,000名を超える株主の皆さまから事業やIR等に関する貴重なご意見・ご感想をいただいています。

当社は、今後も株主の皆さまからいただく貴重な声を経営に反映させていくことで、企業価値のさらなる向上に努めていきます。



「年次報告書」表紙



アンケートハガキ

コーポレート・ガバナンス／内部統制

興銀リースグループは、社会的存在である企業の責任と役割を継続的に果たすため、コーポレート・ガバナンス及び内部統制の適切な整備、運用に努めています。

コーポレート・ガバナンス

■ 基本的な考え方

当社グループは、企業価値を長期かつ継続的に向上していくうえで、株主と経営者の関係の規律づけを中心とした企業活動を律する枠組み、すなわちコーポレート・ガバナンスを有効に機能させることが必要不可欠であると考えています。

■ 取締役会及び執行役員

興銀リースの取締役会は、2016年9月現在7名で構成され、うち2名を独立性を有する社外取締役とすることで取締役会の監督機能と意思決定の適正の確保を図っております。

また、取締役会の決定に基づき、迅速かつ効率的に業務を執行するため執行役員制度を採用し、CEO以下に業

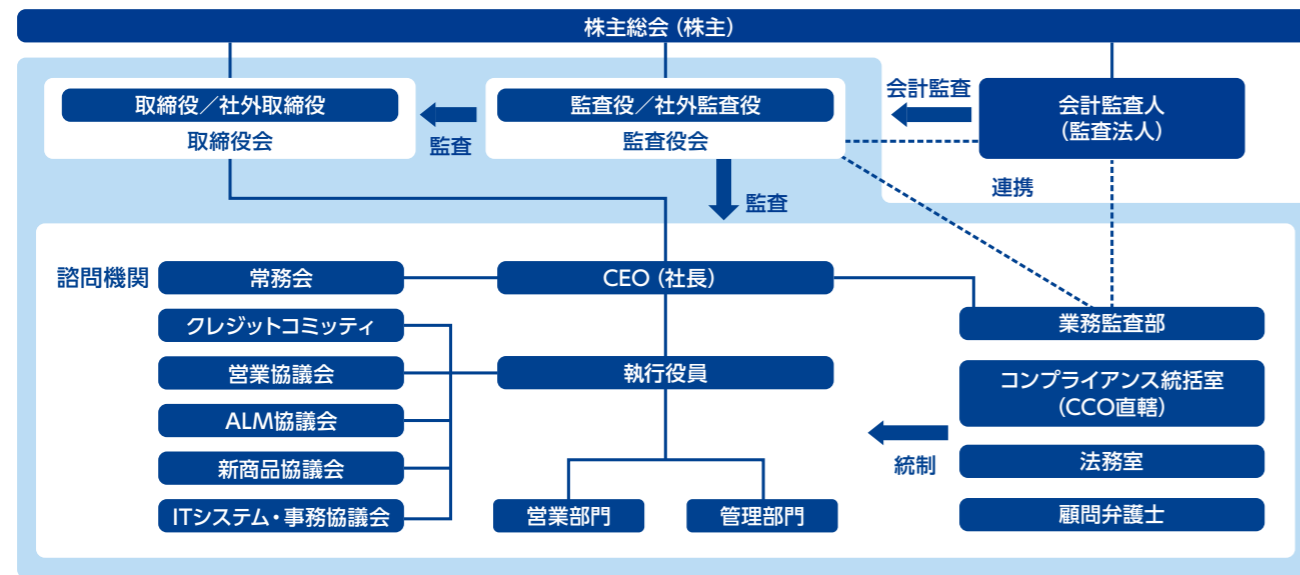
務執行権限を委譲しています。各々の業務執行においては、決裁者を定め責任の明確化を図るとともに、決裁者の判断支援と相互牽制を確保するため、諮問機関を設置しています。

■ 監査役及び監査役会

当社は、監査役4名のうち3名を社外監査役とし、監査役(会)は取締役の忠実義務・善管注意義務等の法的義務の履行状況及び業務の適正な執行などを監視しています。

監査役は、取締役会及び常務会等の重要な会議に出席するほか、代表取締役と定期的に会合し監査上の重要課題について意見を交換しています。あわせて内部監査部門や会計監査人と緊密な関係を保ち、監査の効率と質の向上に努めています。

■ コーポレート・ガバナンス枠組図



内部統制

当社グループは、業務の適正な執行を確保するため、内部統制の強化に取り組んでいます。当社は、会社法に基づく内部統制(取締役の職務の執行が法令及び定款に適合するための体制その他会社の業務並びに会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するための体

制の整備)を有効かつ適切に運用するとともに、グループ全体の内部統制を統括する内部統制統括室を設置し、金融商品取引法に基づく内部統制(財務計算に関する書類その他の情報の適正性を確保するための体制の評価)に関し、体制の整備の充実と適切な運用に努めています。

コンプライアンス／リスクマネジメント

法令・諸規則を遵守し、社会的規範にもとることのない誠実かつ公正な企業活動を実践いたします。また、事業活動に伴い発生するリスクの迅速、的確な管理に努めています。

コンプライアンス

当社グループは、コンプライアンスを徹底するため、「コンプライアンス規程」を制定するとともに、「コンプライアンス統括責任者」のもと、コンプライアンスに係る具体的な施策を実行する「コンプライアンス統括室」を設置し、右記の施策などによりコンプライアンス体制の実効性を確保しています。

- 1 「興銀リースグループの企業行動規範」を定めるとともに、具体的手引書として「コンプライアンス・マニュアル」を制定し、遵守の徹底を図っています。
- 2 コンプライアンスの実践計画として毎年「コンプライアンス・プログラム」を策定し、それに則した教育・研修等を通じて、コンプライアンス体制の浸透を図っています。
- 3 社長直轄の業務監査部が、内部監査の実施を通じて、コンプライアンスの状況を調査・検証し、その報告に基づいて、所要の措置をとる仕組みを構築しています。
- 4 社内通報制度として、コンプライアンス等に係る相談・報告窓口を設置するとともに、「内部通報者保護規程」を定めています。

リスクマネジメント

当社グループは、事業活動の中で発生し、経営に重大な影響を及ぼす可能性のあるさまざまなリスクを迅速かつ的確に把握・分析し管理する体制を整備し、その種類毎に、事前の予防策や発生時の対応策を定め、損失を最小

限にとどめる措置を講じています。特に、信用リスク、市場リスク及び価格変動リスクについては、「統合リスク管理」により定量的に把握し、自己資本の一定範囲内にリスクをコントロールする仕組みを導入しています。

信用リスク (貸倒や物件価値の低下等によるリスク)	「取引先信用格付制度」をベースに、案件審査のほか、金融庁の金融検査マニュアルに準じた厳格な資産査定を行い、必要な償却・引当を実施するなど信用リスクを適切に管理しています。
市場リスク (金利、株式等の変動によるリスク)	常に市場の動向を計測・分析し、ALM(資産・負債の総合管理)の手法により金利等の変動リスクを適切に管理しています。関係部の担当役員をメンバーとする「ALM協議会」において、月次でのALM運営方針や損失の限度などを決定しています。
価格変動リスク (オペレーティングリースの見積残存価額等の変動によるリスク)	各対象物件の中古マーケットの価格動向などを定期的にモニタリングし、将来見積価格の変動リスクを適切に管理しています。
事務リスク (事務の不適切な処理によるリスク)	社内イントラネット上で閲覧可能な各種事務マニュアルを整備するほか、IT統制や内部監査の実施などによりチェック体制を構築しています。また国際規格である品質マネジメントシステムISO9001の認証を全社的に取得し、事務品質の維持・向上を図っています。
システムリスク (ITシステムの障害等によるリスク)	「ITシステムセキュリティ管理規程」、「ITシステム運用管理規程」を定め、その信頼性・安全性を確保するとともに、障害発生時には、「ITシステム等の障害時における事務対策要綱」に基づき、適切な対応を行えるよう体制を整備しています。
災害リスク (自然災害、紛争等非常事態発生によるリスク)	非常事態の発生に際しては、自然災害に係る場合は「災害対策要綱」、その他の災害に係る場合は「緊急対策要綱」に基づいて、適切な対策を実施することにより、人命及び施設などの安全並びに営業の維持を図れるよう備えています。
コンプライアンスリスク (法令・社会的規範に反するリスク)	「コンプライアンス規程」を制定するとともに、「コンプライアンス統括責任者」及び「コンプライアンス統括室」を設置して、コンプライアンス体制を整備しています。



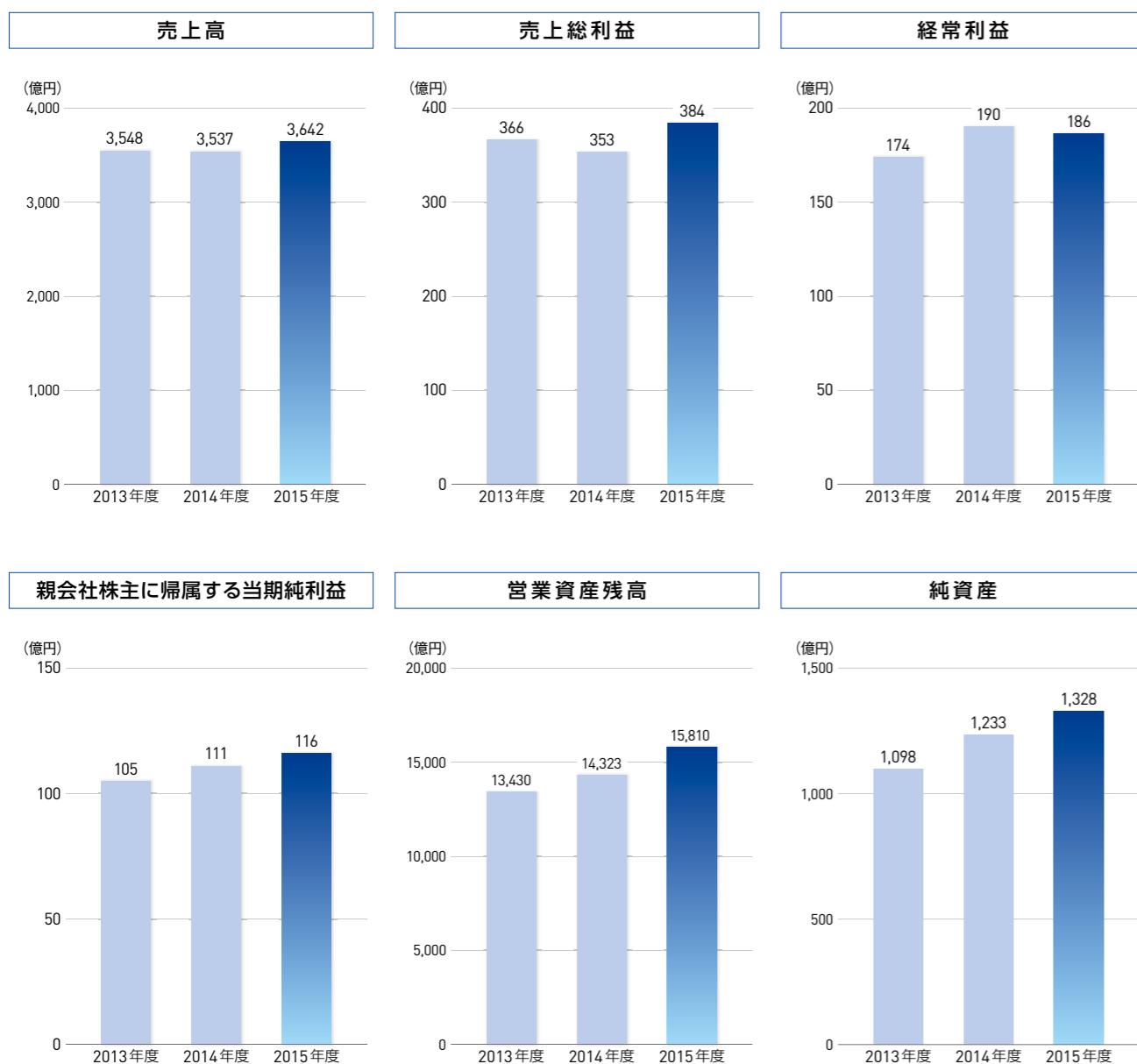
興銀リースグループの概要

興銀リース株式会社

■会社情報 (2016年3月末現在)

商号：興銀リース株式会社
 本社所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目2番6号
 設立：1969年12月1日
 資本金：178億7,419万円
 従業員数：連結1,072名 単体573名
 事業内容：総合金融サービス

■連結財務諸表



■支店一覧 (2016年9月30日現在)

札幌支店	〒060-0001	札幌市中央区北一条西5-2	TEL. 011-231-1341
仙台支店	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-4-1	TEL. 022-223-2611
首都圏営業第二部	〒330-0802	さいたま市大宮区宮町2-96-1	TEL. 048-631-0751
新潟支店	〒951-8061	新潟市中央区西堀通六番町866	TEL. 025-229-7800
富山支店	〒930-0004	富山市桜橋通り5-13	TEL. 076-444-1080
静岡支店	〒420-0857	静岡市葵区御幸町5-9	TEL. 054-205-3330
名古屋支店	〒460-0003	名古屋市中区錦1-11-11	TEL. 052-203-5891
京都支店	〒604-8152	京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659	TEL. 075-223-1545
大阪営業部	〒541-0043	大阪市中央区高麗橋4-1-1	TEL. 06-6201-3981
神戸支店	〒650-0034	神戸市中央区京町69	TEL. 078-392-5440
広島支店	〒730-0031	広島市中区紙屋町2-1-22	TEL. 082-249-4435
高松支店	〒760-0017	高松市番町1-6-8	TEL. 087-823-7321
福岡支店	〒810-0001	福岡市中央区天神1-13-2	TEL. 092-714-5671

■グループ会社一覧 (2016年9月30日現在)

IBJL東芝リース株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6700 (代表)
第一リース株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-3501-5711 (代表)
興銀オートリース株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6800
ユニバーサルリース株式会社	〒104-0054	東京都中央区勝どき6-5-3	TEL. 03-3536-3981
ケイエル・リース & エステート株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6833
ケイエル商事株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6835
ケイエル・インシュアランス株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6826
ケイエル・オフィスサービス株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6840
十八総合リース株式会社	〒850-0841	長崎県長崎市銅座町4-18	TEL. 095-822-1171
興銀融資租賃(中国)有限公司	(上海總公司) 上海市長寧区雲山関路555号 長房國際廣場20階 08-10室 (広州分公司) 広州市天河区天河路208号 粤海天河城大厦13階-1336室		
PT. IBJ VERENA FINANCE	Central Senayan III, 13th Floor, Jl.Asia Afrika No.8, Gelora Bung Karno, Senayan, Jakarta Pusat 10270, Indonesia		
IBJ Air Leasing Limited	Clarendon House, 2 Church Street, Hamilton HM 11, Bermuda		
IBJ Leasing (UK) Limited	Mizuho House 30 Old Bailey London EC4M 7AU, U.K.		
Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd.	18th Floor, Nantawan Bldg., 161 Rajdamri Road, Lumpini,Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand		
PNB-IBJL Leasing and Finance Corporation	7th Floor, Salustiana D. Ty Tower 104 Paseo de Roxas, Legaspi Village, Makati City, Metro Manila, Philippines		



興銀リース株式会社

お問い合わせ先 経営企画部
コーポレートコミュニケーション室
Tel : (03) 5253-6540
Fax : (03) 5253-6539
ホームページ <http://www.ibjl.co.jp>



JQA-QM5758



JQA-EM6055



この冊子を印刷・製本する際に使用した電力量（100kWh）は、グリーン電力でまかなわれています。